

天使

はじめに

フルクテンバウム博士の「メシア的バイブル・スタディ」シリーズの中から、「天使」に関係するものを選んで学んでいます。

この学びの目的は、霊の世界について正確に理解して、私たち信者が神の御手の中に守られていることを確信すること、そして日々の問題に対処できるようになることです。

内容は、大きく三つ、第一に「聖なる天使たち」(2月)、第二に墮天使の長である「サタン」(3月)、そして第三、サタンに従って墮落した天使たち、すなわち「悪霊」です。

前回(4月)は、「悪霊」について、その①「悪霊の名、組織、特徴、力、倫理性」でした。今回は、その②「悪霊の活動、悪霊によるコントロール・その原因とテスト・そこからの脱出、悪霊の追い出し」です。

「悪霊」 ②悪霊の活動、悪霊によるコントロール・その原因とテスト ・そこからの脱出、悪霊の追い出し

1. 悪霊の活動

(1) 活動が顕著になる時期は歴史的に2回

- ① メシアの初臨の時期(黙12:4)
- ② 大患難期(黙9:3~11、15~19)

(2) 活動目的

- ① サタンの指揮下にあつて
 - 神の目的を妨害する(ダニ10:13、黙16:12~16)
 - サタンの権威をコスモス(この世)全体に広げる(エペ2:1~2、6:11~12)
- ② 神によって用いられる(Iサム16:14、I列22:19~23)

(3) 活動内容

- ① 諸国民を支配する(ダニ10:13、20)
- ② 人の身体に病弊を起こさせる(すべての病気が悪霊から来るわけではない)
- ③ 精神異常を起こさせる(マコ5:1~5、ルカ8:26~27)
- ④ きわめて大きな体力を発揮させる(マコ5:1~4、ルカ8:29)
- ⑤ 自殺の原因となる(マコ9:22)
- ⑥ 動物にとりつく(マコ5:12~13)
- ⑦ 偶像崇拜をさせる(申22:17、ゼカ13:2、ホセ4:12、Iコリ10:20)
- ⑧ 悪霊崇拜をさせる(レビ17:7、イザ65:11、黙9:20~21)
- ⑨ 不潔・不道徳の原因となる(ルカ8:27)
- ⑩ 偽の教理体系を宣伝する(Iテモ4:1、ヤコ3:15、Iヨハ4:1)
- ⑪ 信者の霊的成長を妨げる(エペ6:12)
- ⑫ 信者を神の愛から引き離そうとする(ロマ8:38)
- ⑬ 人間を内側からコントロールしようとする(大項目2番で扱う)

⑭ オカルト (次項で扱う)

(4) オカルト 別表「悪霊との交信をする者たち」(使 16:16 占いの霊=蛇の霊)

2. 悪霊によるコントロール・その原因とテスト・そこからの脱出

(1) 悪霊によるコントロール

- ① 外側からの、悪霊による妨害 (ロマ 15:22)、悪霊からの影響 (マタ 16:21~23) とは違う
- ② 悪霊がその人の中に住み着いて、その人を内側からコントロールすること。信者でも陥ることがある。
- ③ その症状: 病気、精神病、自己否定 (自分は何の価値もない者だと思い込ませる)、自殺、受動性 (何でも受け身、してもらっただけ)、不道徳、苦々しさ、薬物中毒、超能力、動物的な挙動、聖書を読むときの落ち着きのなさ、多重人格
- ④ 注意: これらの症状があるからといって、ただちに悪霊によるとは判断できない。他の原因によっても似た症状になることがある。

(2) その原因 (4つ)

- ① 出 34:6~7 親の代での罪の影響が三代目と四代目に及ぶ (モーセの律法のもとにあったイスラエルにのみ適用される。罪は特に、偶像崇拜)
- ② オカルトを試してみた。
- ③ オカルトを実践しなくても、興味本位でそれを観察するとか、それをしている現場に居合わせて仲間のようにそばにいた。
- ④ 信者の場合、告白されていない罪がある。それは、悪霊が信者の中に入り込む橋頭堡になってしまう。注: 足がかり程度ではない。

(3) そのテスト (信者が悪霊によって内側からコントロールされているかどうか) 3つ

- ① 受肉のテスト (Iヨハ 4:2~3) → 「メシアは肉体をもって来られましたか?」「神は人となられ、ナザレのイエスとなられましたか?」
- ② 主と認めるかのテスト (Iコリ 12:3) → 「イエスは、メシア、主ですか? 主というのは、単にあなたの主人という意味ではなく、聖書の神ヤハウエなるお方であると認めますか?」
- ③ メシアの血に対する態度のテスト (Iヨハ 5:6~7) 「メシアが十字架上で注ぎ出された血は、人類すべての、そしてあなた自身の罪のためであったと認めますか?」

注意: 悪霊がおとなしくなっているとき (症状が出ていないとき) にこのテストをしても意味がない。その人自身は悪霊ではないので、このテストをパスしてしまう。

(4) そこからの脱出

- ① 未信者の場合: メシアを受け入れること。イエスが救い主であることを信じて、イエスをそのようなお方であると信頼すること。

② 信者の場合：

- ▶ 告白していない罪があれば、それを神の前に言い表す祈りをする
- ▶ 信仰が後退してオカルトに関与したためであったなら、「それを放棄します。関係を断ちますと。」という祈りをする。オカルトに関係する書物や用具を持っていたら、それらを廃棄する
- ▶ 悪魔が誘惑してきたら、抵抗する。立ち向かうなら勝利できると神が約束しておられることを信じて、立ち向かう（ヤコブ 4：7）

3. 悪霊の追い出し=悪霊によってコントロールされている人に対する最終的な処置

(1) 実例

- ① イエスによる
- ② 使徒たちによる（マタ 10：1、マコ 3：14～15）
- ③ 70人の弟子たちによる（ルカ 10：17）
- ④ イエスに同行していなかった信者たちによる（ルカ 9：49～50）
- ⑤ 使徒の働きの中でペテロによる（使 5：16）
- ⑥ ピリポによる（使 8：7）
- ⑦ パウロによる（使 16：16～18、19：11～12）

(2) 悪霊の追い出しの方法

- ① 「イエス、メシアの名によって」（ルカ 10：17）
- ② 聖霊の力によって（マタ 12：28）
- ③ 簡潔なことばで=命令形で（マタ 8：16、マコ 5：8）→「出て行け」
- ④ 信仰をもって命じること：信者は、自分にはイエスの名によって悪霊を追い出す力と権威が与えられていることを信じなければならない
- ⑤ ある種の悪霊は、単に命じるだけでは追い出せない。特に口をきけなくする悪霊、耳を聞こえなくする悪霊。→祈りによって追い出す（マコ 9：29）・・・このようなケースでは、神は、「イエス、メシアの名」の権威ではなく、信者の祈りを用いて悪霊を追い出すようになさっていると考えられる。

(3) 未信者と信者の区別

- ① 未信者は、霊的な権威は全く持っていない。未信者に悪霊が入った場合は、だれか信者に追い出しをしてもらわなければならない。
- ② 信者は、完全に悪霊のコントロール下になることはない。部分的にせよ、神のコントロール下にある。よって、必ずしも他の信者に追い出してもらう必要はない。自分でできる。

- (4) 信者は、サタンとの関係では、ただ一つのことを勧められている。→立ち向かう（ヤコブ 4：7、Iペテ 5：8～9、エペ 6：10～18）。その方法は、神が信者に与えておられる権威とはどういうものか、聖書を通してわきまえて、その権威を行使すること。その権威とは、全部で 33 ある。神学的には、それらは「33の位置的真理」と呼ばれる。

悪霊との交信をする者たち

	ヘブル語聖書での表記		新改訳聖書での日本語訳	
	ヘブル語	意味	申 18 : 10~11	イザ 19 : 3
①	ケーセム	魔術的方法で何かを分配する。物事を決定する。未来を予言する。	占いをする者	
②	アウナン	原意は「おおいかぶさる」、そこから「秘密」。さらに「秘密を知る者」を指す。とくに、動物の内臓を読み取って占う	ト者	
③	ナウクハシュ	シューと蛇の出すような音を出す。ささやくように呪文を唱える。誰かを悪霊の呪いやコントロールの中に入れる。	まじまい師	
④	カウシャフ	魔女。魔女の使う魔術（星占いも含む）	呪術者	
⑤	カウバル・ケーベル	原意は「呪文を唱えて人々を魅了し、仲間にする」。魔術的な奇跡をする者、催眠術を用いる者。	呪文を唱える者	
⑥	オウブ	「親しい霊」という名の悪霊		霊媒
⑦	シャウアル・オウブ	オウブに尋ねる	霊媒をする者	
⑧	イド デー オニィ	「ヤウダー知る」に由来。男の魔法使い。千里眼、透視能力者、超能力者を含む。	口寄せ	口寄せ
⑨	ダウラシュ・ムース	死者の後に従う、尋ねる	死人に伺いを立てる者	
⑩	エルイール (複数形エリリム)	何もない、空虚、むなしい偶像の背後にいる悪霊の名。または、偶像そのもの。		偽りの神々
⑪	アト	柔らかく動く→降神術者（彼らは柔らかな呪文を用いる）		死霊